

PRESENTATION

平成16年度情報ネットワーク活用講習会資料

児童・生徒用メールアドレス活用の
実践事例報告

山形市立第五中学校 工藤 歩

2005年2月10日(木)

はじめに

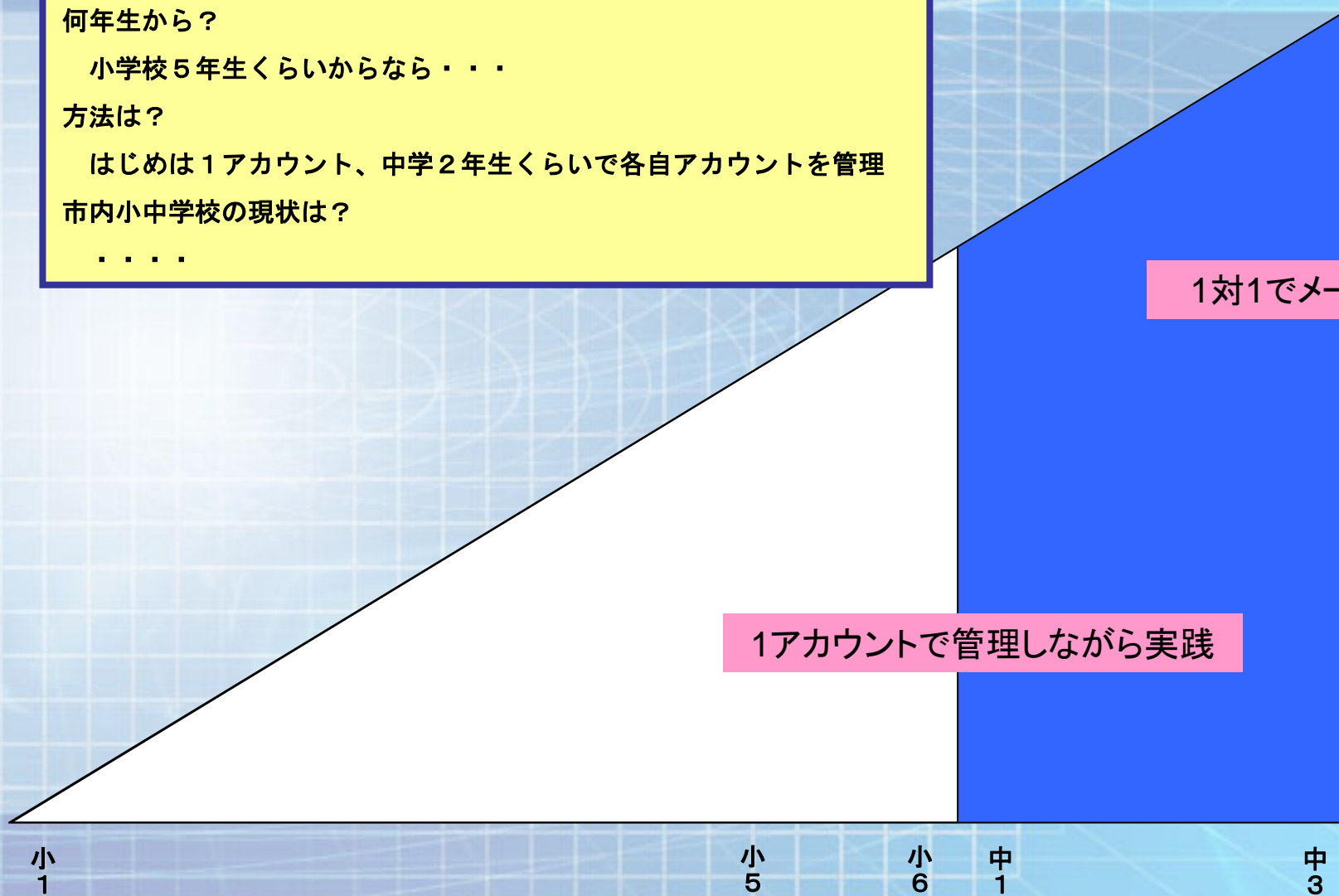
何年生から？

小学校5年生くらいからなら・・・

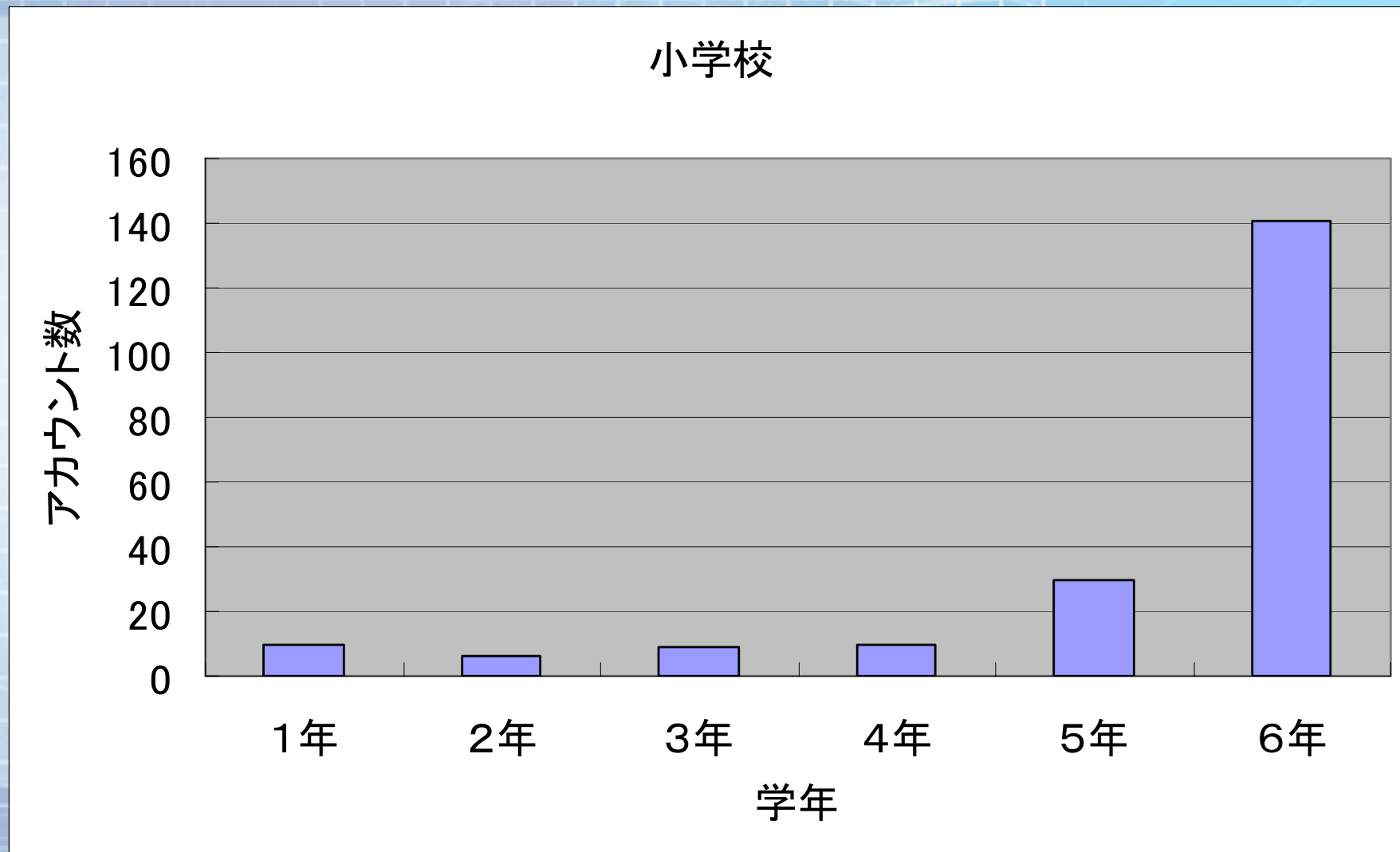
方法は？

はじめは1アカウント、中学2年生くらいで各自アカウントを管理
市内小中学校の現状は？

.....



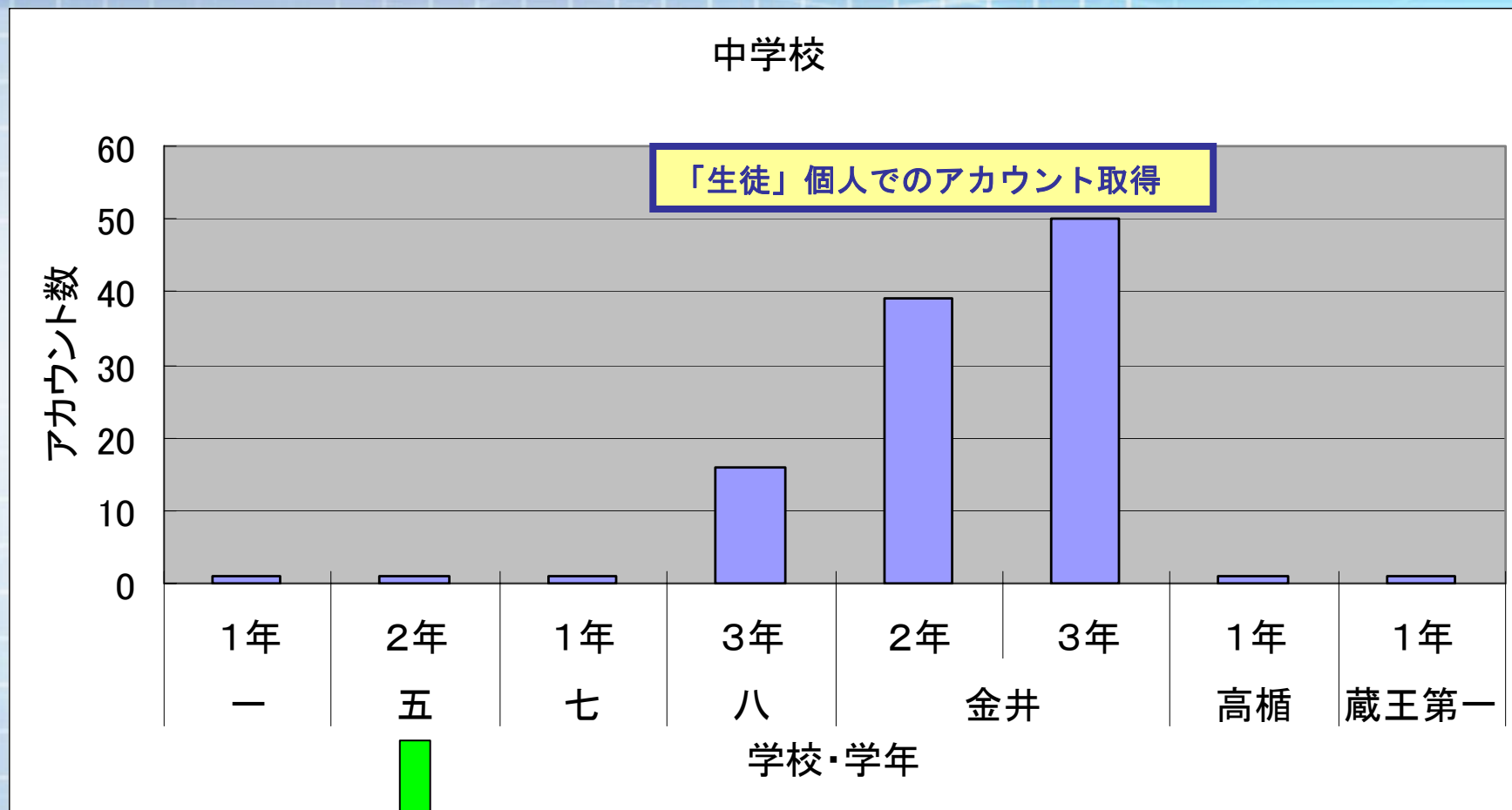
小学校の実態



小学校の実態

	アカウント数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
学年	9	2	2	3	4	4	24
学級	1	4	7	7	10	16	45
児童	0	0	0	0	0	100	100
班	0	0	0	0	16	20	36
児童会	0	0	0	0	0	1	1
計	10	6	9	10	30	141	206

中学校の実態

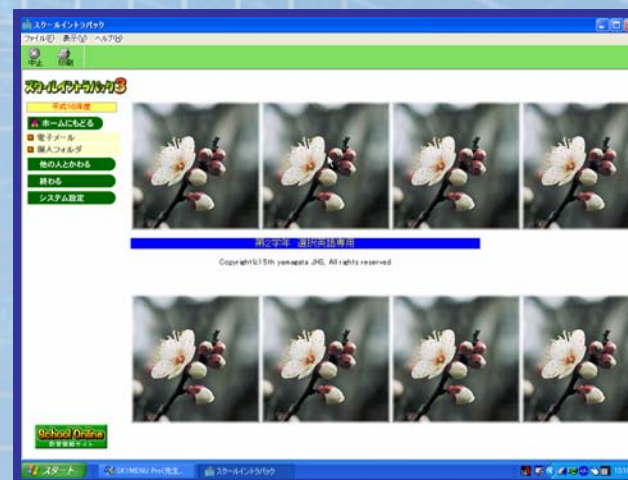


教科としてのアカウント取得

学年でのアカウント取得

概要

- 山形市と姉妹都市である「ボルダー市」との交流活動の一環
- 使用ソフトウェア: スクールイントラパック3 (SIP)
- 講座選択生徒数: 30名
- 週1時間
- 第2学年「選択・英語」にて実施
- 準備



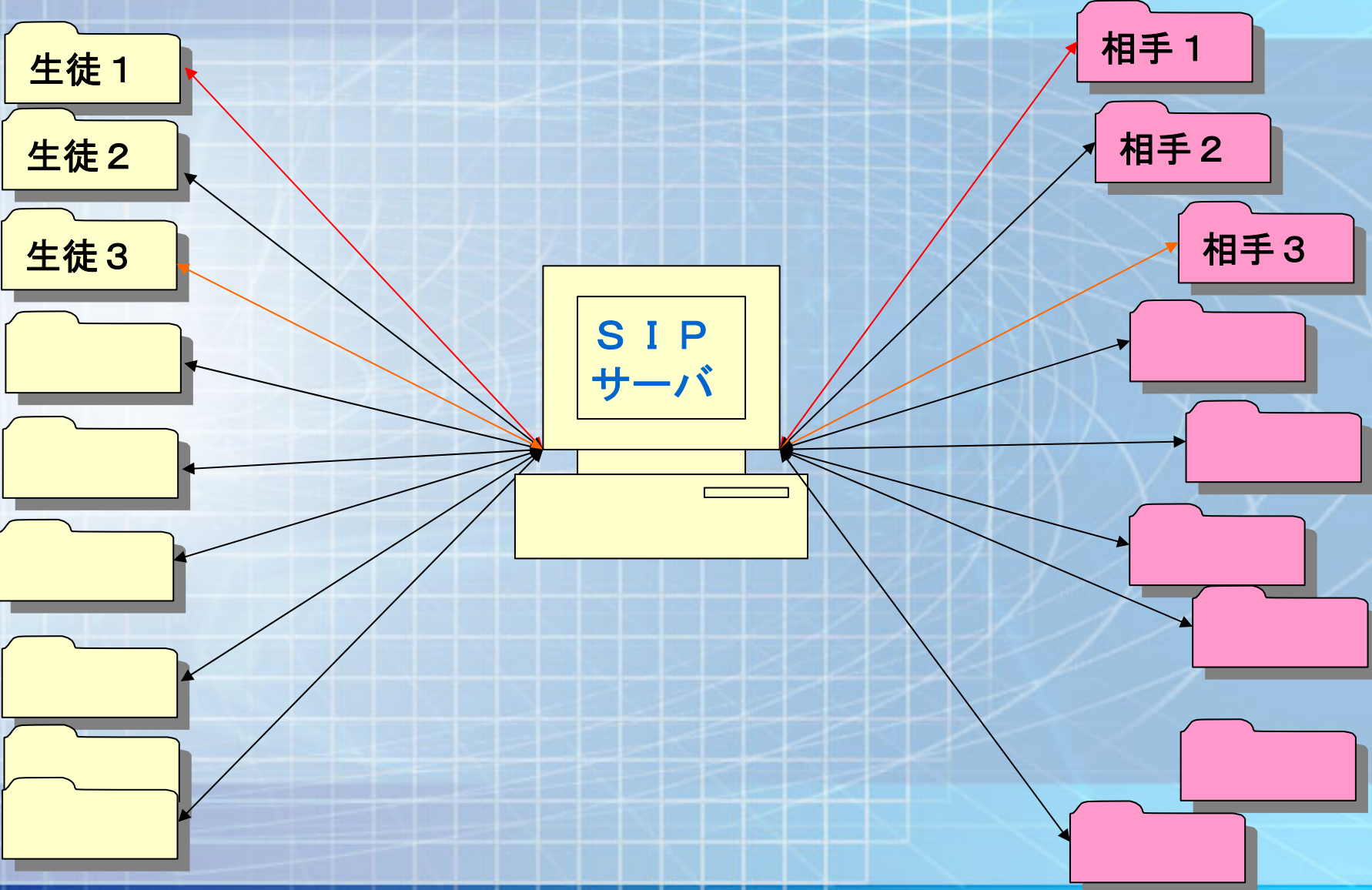
1 アカウントを申請 → e-sentaku2

講座専用のページを準備 → 「自分たちの」「管理上」

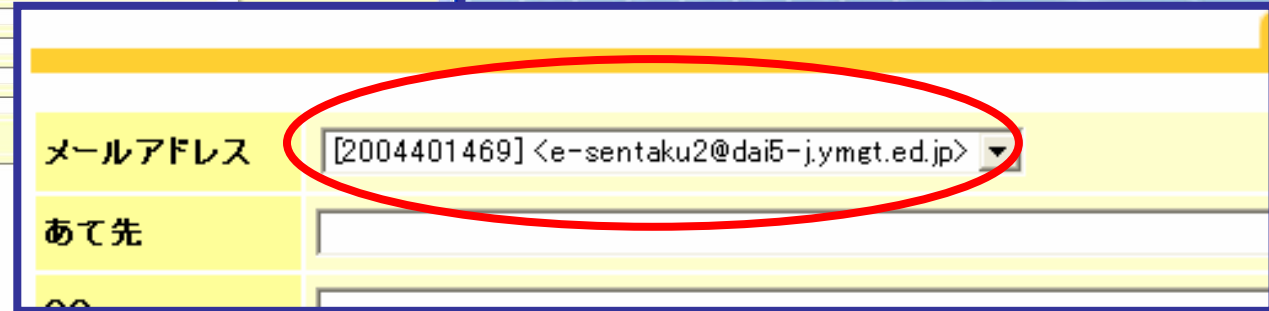
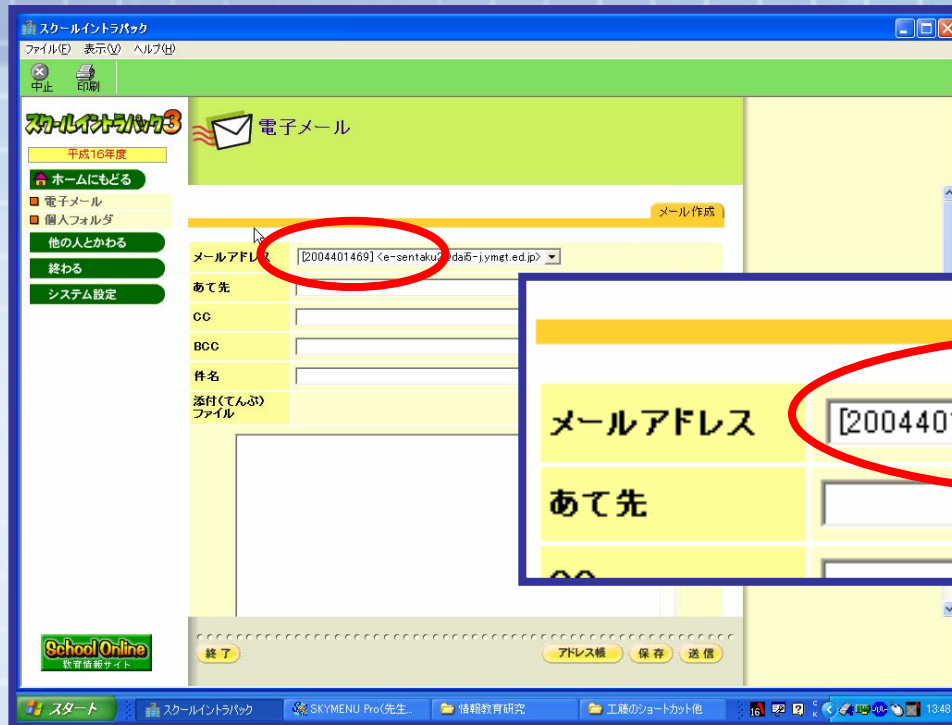
(生徒一人に1つのフォルダを準備) → 添付ファイルや保存のため

操作方法の説明 → 通常の技術の授業と同様 T・T SE

メールの流れ



電子メール作成画面



メールアドレスの前に自動的に生徒番号がつく（スライドでは2004401469）

1アカウントであっても、メールアドレスの前に自動的に生徒番号がつくことによって、その生徒のメールへの返信がその生徒に届く。
1対1のメール交換が可能になる

電子メール 下書き・個人フォルダ

スクールイントラパック3

平成16年度

ホームにもどる

電子メール

個人フォルダ

他の人とかわる

終わる

電子メール

受信一覧 送信一覧 下書き

件名	あて先	送信した日時	消す
(無題)	dmajor@gaggle.net	2005年01月18日(火) 午後 02:25	<input type="checkbox"/>
(無題)		2005年01月18日(火) 午後 02:26	<input type="checkbox"/>

スクールイントラパック3

平成16年度

ホームにもどる

電子メール

個人フォルダ

他の人とかわる

終わる

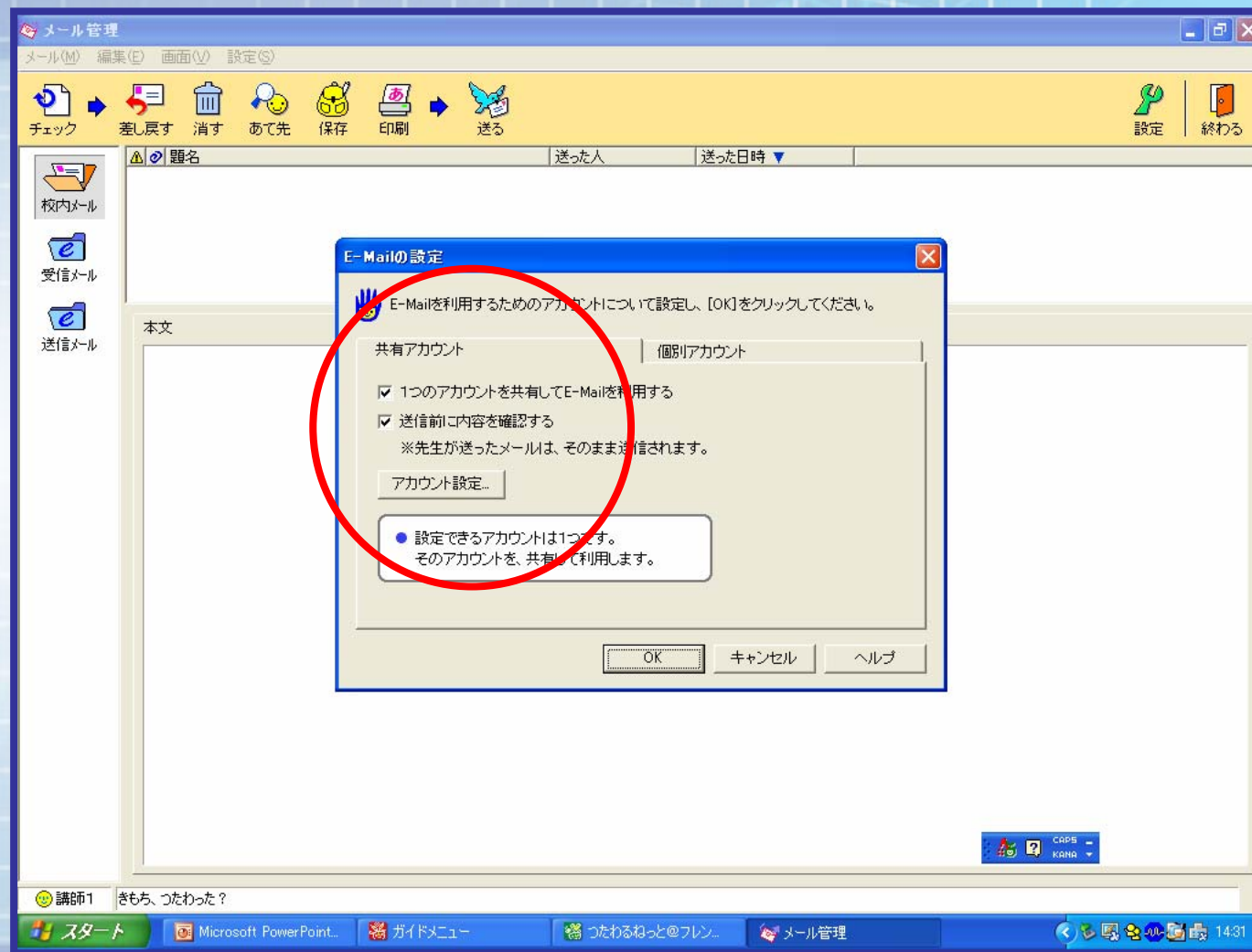
個人フォルダ

- 二年選択 8
- 公開フォルダ
- 第五中学校二年選択
- 全学校共通
- 共通公開フォルダ

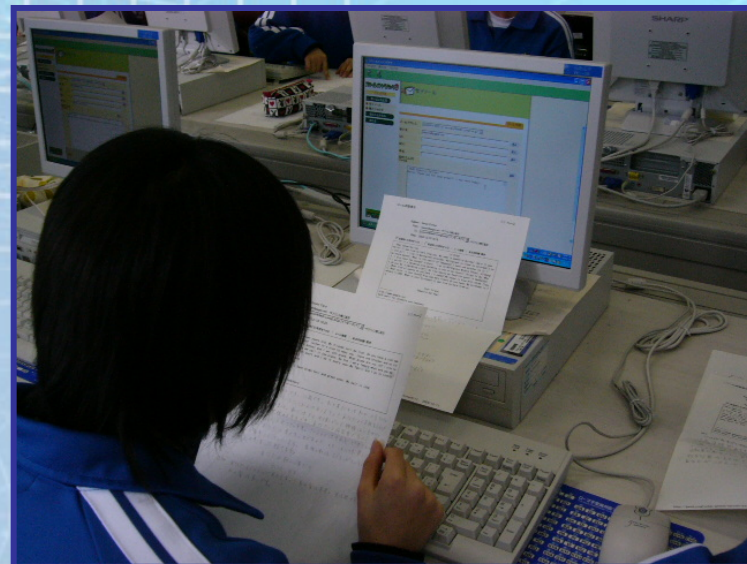
ジャストスマイル・つたわるねっと の画面 1



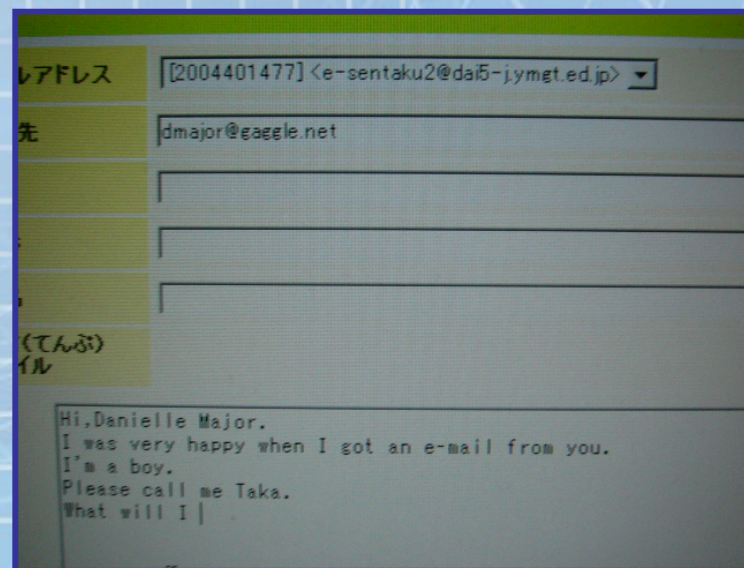
ジャストスマイル・つたわるねっと の画面 2



授業の様子 1 / 2



授業の様子 2 / 2



最後に

- 情報学習 + 英語学習 = 既習事項を活用する場
- 活用することにより「幅のある学習」が可能
- 今後の授業の可能性が拡大
メール交換 → (チャット) → TV会議

- システムの認知と活用
より現場に適したシステム・コンテンツへ
- サポート体制の更なる充実
- 情報教育を推進する校内の組織